

氏名	深田 章子
学位の種類	修士 (看護学)
学位記番号	修士 第 192 号
学位授与年月日	平成 27 年 3 月 10 日
学位論文題目	上司の管理行動と 20 歳代看護師の Sense of Coherence との関係

## 論文内容要旨

※整理番号	198	(ふりがな) 氏名	ふかだ あきこ 深田 章子
修士論文題目	上司の管理行動と 20 歳代看護師の Sense of Coherence との関係		
<p>【目的】本研究の目的は、20 歳代の看護師の SOC スコアとこれらの看護師から見た上司（看護師長）の管理行動との関係を明らかにし、働き続けられる職場づくりのための、効果的な看護管理を実践するための示唆を得ることである。</p> <p>【方法】対象：京都府・滋賀県・奈良県内の病院で日本病院会に登録されている施設が 146 施設ありそのうちの 400 床以上の病床を有する 30 施設に勤務する経験年数 3 年目以上の 20 代の看護師。調査方法：同意が得られた施設に自記式質問紙、返信用封筒を郵送し、看護師長を通して対象者に配布されるよう依頼した。記載された調査票は研究協力者自身により、調査票と併せて配布した封筒に各自で厳封の上、研究者へ直接返送とした。返信者の氏名等の記載は不要とした。</p> <p>分析方法：対象者の基本属性、SOC 合計点および下位項目別得点、上司の管理行動に対する評価について記述統計量を算出した。次に、SOC スコアの合計点を中央値で 2 値化し、高得点群、低得点群に分類した。そして、基本属性および上司の管理行動に関する項目と SOC スコアの高低との関連を検討した。その後、SOC スコアの高得点群/低得点群と、上司の管理行動に対する各項目の該当/非該当を、性別、年齢、婚姻の有無、同居の有無、看護基礎教育課程を調整変数として投入した多重ロジスティック回帰分析を行った。最後に、上司の管理行動に対する 7 項目について該当すると回答した項目の総数を算出し、評価項目数別に SOC 高得点群の割合を記述した。そして、上司の管理行動に対する評価が 7 項目中 4 項目以上/未満で 2 値化し、SOC スコアの高低との関連について検討した。そして、多変量解析を SOC 高得点群/低得点群と、上司の管理行動に対する評価の該当項目数が 4 項目以上/4 項目未満を投入し、性別、年齢、婚姻の有無、同居の有無、夜勤の有無、看護基礎教育課程を調整した多重ロジスティック回帰分析を行った。</p> <p>【結果】11 施設より研究協力の同意が得られ、研究協力が得られた対象看護師 430 名へ調査票を配布した。調査票の回収数は 179 名（回収率 41.6%）そのうちデータに不備のあるものを除き最終有効回答数は、166 名（回収数の 38.6%）であった。SOC の合計点の中央値の 51 点で 2 値化すると、低得点群は 81 名、の高得点群は 85 名に分類された。属性と SOC に有意な関係は見られなかった。上司の管理行動 5 項目で、SOC 高得点群は低得点群に比べて該当者の割合が有意に高かった。上司の管理行動に対する対象者の評価項目数が 4 項目以上のものと、4 項目未満のものに分けると 4 項目以上の者の高得点群の割合は有意な差を認めた。</p> <p>【考察】上司の管理行動項目にあげた項目について評価していると回答した者と、評価していないと回答した者とは、していると回答した者の SOC が高得点群である割合が高く、管理行動が SOC を高めることに何らかの関係があったと推察される。上司の管理行動を評価していると回答した項目数が多くなれば SOC が高得点群である割合も増えた。管理行動項目 7 項目のうち 4 項目以上評価すると回答した人は、4 項目未満のものに比べ SOC 高得点群であることがあきらかとなった。看護職員の職務満足度に影響を及ぼす管理行動の構成要素として、「関わりの強化」「労務管理の公開」「師長として考えや指針を示す」「スタッフに気をかける」「良好な風土作り・情報提供」「教育的関わりの強化」があり、これらの管理行動を実施することは、職員の満足度を上げ、さらには SOC の向上につながると推察される。</p> <p>【総括】 1. 上司の管理行動に関する 7 項目のうち、5 項目で SOC 高得点群は低得点群に比べて該当者の割合が高かった。 2. 上司の管理行動に対する対象者の評価項目数が 4 項目以上のものは、4 項目未満のものに比べて約 4 倍 SOC 高得点群の割合が高かった。</p>			

- (備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200 字程度)  
2. ※印の欄には記入しないこと。